

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
原子力科学研究所
原子炉施設 (JRR-3 原子炉施設)
使用前検査成績書

[計測制御系統施設]

原子力規制委員会

使用前検査成績書

事業者及び事業者名	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所		
検査範囲	計測制御系統施設のうち 計装のうち 附帯設備のうち 原子炉出力制御系統		
検査場所	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所 JRR-3原子炉施設		
申請年月日及び申請番号	令和元年10月15日 令01原機(科研)012		
検査項目	検査年月日	結果	摘要
外観検査	令和4年4月7日	良	別紙-1, 2 のとおり
インターロック検査	令和4年4月7日	良	別紙-3, 4 のとおり
リバーズ検査	令和4年4月7日	良	別紙-5, 6 のとおり
最大速度駆動検査	令和4年4月7日	良	別紙-7, 8 のとおり
設計変更の生じた 構築物等に対する 適合性確認結果の検査	令和4年4月7日	良	別紙-9, 10 のとおり
品質管理の方法等 に関する検査	令和4年4月6日	良	別紙-11, 12 のとおり
原子力検査官	<div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">松本 武彦</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">小野 雅士</div> </div>		
検査立会責任者 (役職名)	[REDACTED]		
備考			

検査前確認事項

検査年月日 令和 4 年 4 月 7 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：外観検査

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計装のうち 附帯設備のうち 原子炉出力制御系統		
	確 認 事 項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
<p>備 考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14 に示す。</p>			

外観検査記録

検査年月日 令和 4 年 4 月 7 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計装のうち 附帯設備のうち 原子炉出力制御系統		
	判定基準	結果	検査方法
	反応度制御盤の部品（自動制御ユニット、リレーユニット）に機能上有害な傷、割れ及び変形がないこと。	良	立会
備考	本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14 に示す。		

検査前確認事項

検査年月日 令和 4 年 4 月 7 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：インターロック検査

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計装のうち 附帯設備のうち 原子炉出力制御系統		
確 認 事 項		確認方法	結果
① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。		記録	良
② 必要な図面等が準備されていることを確認する。		記録	良
③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。		記録	良
<p>備 考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14 に示す。</p>			

インターロック検査記録

検査年月日 令和 4 年 4 月 7 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計装のうち 附帯設備のうち 原子炉出力制御系統	判定基準	結果	検査方法
①	原子炉起動インターロック回路 原子炉起動インターロックの作動条件が成立している場合には、可動コイルを励磁操作しても励磁できず、原子炉が起動できないこと。		良	立会/ 記録
②	粗調整棒引抜きインターロック回路 粗調整棒引抜きインターロックの作動条件が成立している場合には、粗調整棒の引抜き操作をしても、引抜きができないこと。		良	立会/ 記録
③	制御棒手動引抜きインターロック回路 制御棒手動引抜きインターロックの作動条件が成立している場合には、制御棒の手動引抜き操作をしても、引抜きができないこと。		良	記録
④	自動制御運転インターロック回路 自動制御運転インターロックの作動条件が成立している場合には、自動投入中表示ランプが消灯し、自動制御運転が解除されること。		良	立会/ 記録
⑤	制御棒試験インターロック回路 制御棒試験時条件が成立している場合には、任意の制御棒 2 本の手動引抜き操作をしても、引抜きができないこと。		良	立会
備考 立会検査の記録を添付-1、本検査で使用した検査用計器を別紙-13、本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14 に示す。				

インターロック立会検査記録 (1/3)

(1) 原子炉起動インターロック回路

作動条件		判定基準	立会区分	
起動系テスト状態	A系	原子炉起動インターロックの作動条件が成立している場合には、可動コイルを励磁操作しても励磁できず、原子炉が起動できないこと。	<input checked="" type="checkbox"/> 立会 <input type="checkbox"/> 記録 良	
	B系		<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録	
線形出力系テスト状態	A系		<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録	
	B系		<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録	
対数出力炉周期系テスト状態	A系		<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録	
	B系		<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録	
安全系テスト状態	A系		<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録	
	B系		<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録	
起動系計数率 3cps 以下	A系		<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録 (3.2 ⁰ cps)	
	B系		<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録 (3.2 ⁷ cps)	
制御棒6本のうちいずれかが着座状態にない				<input checked="" type="checkbox"/> 立会 <input type="checkbox"/> 記録 良
炉下室扉開				<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録
上部遮蔽体開				<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録
スクラム	A系		<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録	
	B系	<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録		

※ 立会/記録の別を□(レ点)内に入れることとし、立会の際に作動値がある場合は、作動値を立会区分欄に記入すること。

インターロック立会検査記録 (2/3)

(2) 粗調整棒引抜きインターロック回路

作動条件		判定基準	立会区分
安全系中性子束高 105%以上	低設定 原子炉出力 200kW の 105%(210kW)	A 系	<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録 (208.9 kW)
	高設定 原子炉出力 20MW の 105% (21.0MW)	B 系	<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録 (209.2 kW)
		A 系	<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録 (20.9 MW)
		B 系	<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録 (20.9 MW)
対数出力炉周期系 20 秒より短		A 系	<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録 (20.2秒)
	B 系	<input checked="" type="checkbox"/> 立会 <input type="checkbox"/> 記録 20.5秒	
線形出力系高圧低 600V 以下	A 系	粗調整棒引抜きインター ロックの作動条件が成立 している場合には、粗調 整棒の引抜き操作をして も、引抜きができないこ と。	<input checked="" type="checkbox"/> 立会 <input type="checkbox"/> 記録 611V
	B 系		<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録 (612V)
粗調整棒 3 本以上同時引抜			<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録
自動投入中粗調整棒 2 本以上引抜	A 系 (R-1)		<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録
	B 系 (R-2)		<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録
対数計数率 10 ⁵ cps 以上	A 系		<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録 (9.85×10 ⁴ cps)
	B 系		<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録 (9.66×10 ⁴ cps)
リバース			<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録

※ 立会/記録の別を□(レ点)内に入れることとし、立会の際に作動値がある場合は、作動値を立会区分欄に記入すること。

インターロック立会検査記録 (3/3)

(3) 制御棒手動引抜きインターロック回路

作動条件	判定基準	立会区分
微調整棒及び粗調整棒を同時に引抜操作した場合	制御棒手動引抜きインターロックの作動条件が成立している場合には、制御棒の手動引抜き操作をしても、引抜きができないこと。	<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録

※ 立会/記録の別を□(レ点)内に入れること。

(4) 自動制御運転インターロック回路

作動条件	判定基準	立会区分
誤差出力大 ±10%以上	自動制御運転インターロックの作動条件が成立している場合には、自動投入中表示ランプが消灯し、自動制御運転が解除されること。	<input type="checkbox"/> 立会 (+10.0%)
		<input checked="" type="checkbox"/> 記録 (-10.0%)
自動制御運転中 微調整棒下限		<input checked="" type="checkbox"/> 立会 +10.0%
		<input type="checkbox"/> 記録 -9.9%
自動制御運転中 微調整棒上限		<input type="checkbox"/> 立会
		<input checked="" type="checkbox"/> 記録
リバース	<input type="checkbox"/> 立会	
	<input checked="" type="checkbox"/> 記録	
手動解除	<input type="checkbox"/> 立会	
	<input checked="" type="checkbox"/> 記録	

※ 立会/記録の別を□(レ点)内に入れることとし、立会の際に作動値がある場合は、作動値を立会区分欄に記入すること。

(5) 制御棒試験インターロック回路

作動条件	判定基準	立会区分
原子炉運転キースイッチが制御棒試験モードである時に、制御棒2本以上引抜操作した場合	制御棒試験時条件が成立している場合には、任意の制御棒2本の手動引抜き操作をしても、引抜きができないこと。	<input checked="" type="checkbox"/> 立会 <input type="checkbox"/> 記録 良

※ 立会/記録の別を□(レ点)内に入れること。

検査前確認事項

検査年月日 令和 4 年 4 月 7 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：リバーズ検査

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計装のうち 附帯設備のうち 原子炉出力制御系統		
確認事項		確認方法	結果
① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。		記録	良
② 必要な図面等が準備されていることを確認する。		記録	良
③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。		記録	良
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14 に示す。</p>			

リバーズ検査記録

検査年月日 令和 4 年 4 月 7 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計装のうち 附帯設備のうち 原子炉出力制御系統		
判定基準		結果	検査方法
① 安全系中性子束高 107%以上 リバーズ作動条件に相当する模擬信号を与えたとき、安全系中性子束が 210kW~214kW(低設定)及び 21.0MW~21.4MW(高設定)の間でリバーズ作動すること。	良	立会/記録	
② 対数出力炉周期系 10 秒より短 リバーズ作動条件に相当する模擬信号を与えたとき、炉周期が 11 秒~10 秒の間でリバーズ作動すること。	良	記録	
③ 誤差出力大±10%以上 リバーズ作動条件に相当する模擬信号を与えたとき、誤差出力が+9%~+10%及び-9%~-10%の間でリバーズ作動すること。	良	立会/記録	
④ 自動制御運転中微調整棒下限 リバーズ作動条件に相当する模擬信号を与えたとき、自動制御運転にした微調整棒が下限位置でリバーズ作動すること。	良	記録	
⑤ 手動リバーズ 手動リバーズボタンを押したとき、リバーズ作動すること。	良	記録	
<p>備考</p> <p>立会検査記録を添付-2、本検査で使用した検査用計器を別紙-13、本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14 に示す。</p>			

リバース立会検査記録

項目	作動条件		判定基準	立会区分
安全系中性子束高 107%以上	低設定 原子炉出力 200kWの107% (214kW)	A系	リバース作動条件に相当する模擬信号を与えたとき、安全系中性子束が210kW~214kWの間でリバース作動すること。	<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録 (213.0kW)
		B系		<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録 (212.7kW)
	高設定 原子炉出力 20MWの107% (21.4MW)	A系	リバース作動条件に相当する模擬信号を与えたとき、安全系中性子束が21.0MW~21.4MWの間でリバース作動すること。	<input checked="" type="checkbox"/> 立会 <input type="checkbox"/> 記録 21.3 MW
		B系		<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録 (21.3MW)
対数出力炉周期系 10秒より短	10秒	A系	リバース作動条件に相当する模擬信号を与えたとき、炉周期が11秒~10秒の間でリバース作動すること。	<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録 (10.1秒)
		B系		<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録 (10.3秒)
誤差出力大 ±10%	±10%	A系 (R-1)	リバース作動条件に相当する模擬信号を与えたとき、誤差出力が+9%~+10%及び-9%~-10%の間でリバース作動すること。	<input type="checkbox"/> 立会 (+9.9%) <input checked="" type="checkbox"/> 記録 (-9.9%)
		B系 (R-2)		<input checked="" type="checkbox"/> 立会 +9.9% <input type="checkbox"/> 記録 -9.9%
自動制御運転中 微調整棒下限	自動制御運転中 下限位置	A系 (R-1)	リバース作動条件に相当する模擬信号を与えたとき、自動制御運転にした微調整棒が下限位置でリバース作動すること。	<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録
		B系 (R-2)		<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録
手動リバース			手動リバースボタンを押したとき、リバース作動すること。	<input type="checkbox"/> 立会 <input checked="" type="checkbox"/> 記録

※ 立会/記録の別を□(レ点)内に入れることとし、立会の際に作動値がある場合は、作動値を立会区分欄に記入すること。

検査前確認事項

検査年月日 令和 4 年 4 月 7 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：最大速度駆動検査

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計装のうち 附帯設備のうち 原子炉出力制御系統		
	確 認 事 項	確認方法	結果
	① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。	記録	良
	② 必要な図面等が準備されていることを確認する。	記録	良
	③ 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録により確認する。	記録	良
<p>備 考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14 に示す。</p>			

最大速度駆動検査記録

検査年月日 令和 4 年 4 月 7 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計装のうち 附帯設備のうち 原子炉出力制御系統					
判定基準			結果	検査方法		
制御棒が通常挿入、引抜き最大速度 (30cm/min) 以下で駆動すること。			良	立会		
備考						
本検査で使用した検査用計器を別紙-13、本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14 に示す。						
・立会検査記録						
検査対象	引抜き時			挿入時		
	駆動距離 (mm)	駆動時間 (sec)	駆動速度 (cm/min)	駆動距離 (mm)	駆動時間 (sec)	駆動速度 (cm/min)
A系 (R-1)	799.8	176.2	27.2	800.6	177.4	27.1
B系 (R-2)	799.7	173.0	27.7	800.5	174.0	27.6

検査前確認事項

検査年月日 令和 4 年 4 月 8 日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計装のうち 附帯設備のうち 原子炉出力制御系統		
確認事項		確認方法	結果
① 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。		記録	良
② 必要な図面等が準備されていることを確認する。		記録	良
備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14 に示す。			

設計変更の生じた構築物等に対する適合性確認結果の検査記録

検査年月日 令和 4 年 4 月 8 日
 検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計装のうち 附帯設備のうち 原子炉出力制御系統		
判定基準		結果	検査方法
<p>設工認申請書に従って行われ、下記の性能の技術基準に適合していること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機能の確認等(第5条) ・試験研究用等原子炉施設への人の不法な侵入等の防止(第10条) ・反応度制御系統及び原子炉停止系統(第31条第1項) 		良	記録
<p>備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p>			

検査前確認事項

検査年月日 令和 4 年 4 月 7 日
 検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査項目：品質管理の方法等に関する検査

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計装のうち 附帯設備のうち 原子炉出力制御系統		
確認事項		確認方法	結果
法令、規格、設工認申請書、申請者の規程類、申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていることを確認する。		記録	良
<p>備考</p> <p>本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14 に示す。</p>			

品質管理の方法等に関する検査記録

検査年月日 令和 4 年 4 月 6 日
 検査場所 J R R - 3 原子炉施設

検査範囲	計測制御系統施設のうち 計装のうち 附帯設備のうち 原子炉出力制御系統	
判定基準		検査結果
工事及び検査に係る保安活動が、設工認申請書に定められた品質管理の方法等に関する事項に従って行われていること。		良
総合所見	当該工事及び検査に係る保安活動が、事業者の定める保安品質保証計画書に従って実施されていることを確認した。	
品質管理の方法等に関する所見	<p>1 品質保証の実施に係る組織</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事及び検査に係る必要な人的資源、インフラストラクチャー及び作業環境が確保され、申請者部門間及び調達先との間の責任及び権限が明確にされ、体制の構築、情報伝達等が設工認申請書に従って行われていることを確認した。 ・供給者の選定や管理が設工認申請書に従って行われていることを確認した。 	
	<p>2 保安活動の計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事及び検査に係る法令、仕様等の要求事項及び1の組織体制等が申請者関係部門及び供給者に明確にされ、対象設備について全体工程や各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査が漏れなく実施されるよう計画（手順や可否判定基準を含む。）が定められていることを確認した。 ・1の供給者（調達物品や役務を含む。）の管理方法についても設工認申請書に従って定められていることを確認した。 	
	<p>3 保安活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事及び検査が2の計画に従って漏れなく実施されていることを確認した。また、調達物品や役務に係る各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査についても設工認申請書に従って行われていることを確認した。 	
	<p>4 保安活動の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調達物品や役務、原子力施設が要求事項に適合していることを実証するため、2の計画に従って漏れなく監視、測定、試験及び検査が行われていることを評価していることを確認した。また、不適合が発生した場合の処置、供給者から申請者への報告についても2の計画に従って行われていることを確認した。 	
	<p>5 保安活動の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防処置又は不適合に対する是正処置を通じて、品質管理の方法等の継続的改善が実施されていることを確認した。 	
<p>備考 本検査で確認した申請者の品質記録等を別紙-14に示す。</p>		

使用計測器一覧表

検査年月日 令和4年 4月 7日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

1) 仮設計器

検査項目	機器名称	計器番号	測定範囲	精度	校正年月日	備考
					校正有効期限	

2) 本設計器

検査項目	機器名称	計器番号	測定範囲	精度	校正年月日	備考
					校正有効期限	
インターロック検査、リバース検査、最大速度駆動検査	制御棒位置指示計	-	0.0mm～800.0mm	±3%以内	2022. 3. 25	
					校正日より2年以内	
インターロック検査	炉周期計テスト信号発生器	8808390	1s～110s	±3%FS以内	2022. 1. 7	
					校正日より2年以内	
インターロック検査	線形出力系高圧電源 A (正)	G62G923	0V～800V	±2V以内	2021. 12. 27	
					校正日より2年以内	

検査項目	機器名称	計器番号	測定範囲	精度	校正年月日	備考
					校正有効期限	
インターロック検査、リバーズ検査、最大速度駆動検査	線形出力計 テスト信号 発生器	G72S085	4W~25MW	±3%FS 以内	2022. 1. 6	
					校正日より 2年以内	
リバーズ 検査	安全計テス ト信号発生 器	G82S805	50kW~25MW	±3%FS 以内	2022. 1. 20	
					校正日より 2年以内	
最大速度 駆動検査	スクラム 特性試験 回路盤	—	駆動距離 -10.0mm~ 810.0mm	—	2022. 2. 18	
			ストローク 時間 0s~999.9s		校正日より 2年以内	

記 録 一 覧 表

検査年月日 令和4年 4月 6、7、8日

検査場所 J R R - 3 原子炉施設

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備 考
1	原子力科学研究所 原子炉施設及び核燃料物質使用施設等 品質マネジメント計画書	QS-P10、2021年10月19日	
2	原子力科学研究所 原子炉施設及び核燃料物質使用施設等 品質保証計画書	QS-P10、2018年7月18日	
3	JRR-3 本体施設運転手引	(科研)QAM-710-001、2022年4月1日	
4	JRR-3 起動前点検(I)-A、(I)-B 別記様式第-10-1 (その1、その2)	(科研)QAM-710-001、2022年4月1日	
5	原子力科学研究所 原子炉施設保安規定	令03(規程)第69号、令和4年4月1日	
6	炉運転班員指名書	令和4年4月1日	
7	研究炉加速器技術部 試験・検査の管理要領	(科研)QAM-820、2022年3月31日、2017年2月15日	
8	検査員の力量評価表	(科研)QAM-620、令和3年1月5日	
9	原子力科学研究所 調達管理要領	(科)QAM-740、2021年3月12日、2018年4月1日	
10	調達要求事項の確認	(科)QAM-740、2021年3月12日	
11	引合先の評価・再評価票	(科)QAM-740、2021年3月12日	
12	研究炉加速器技術部 業務の計画及び実施に関する要領	(科研)QAM-710、2022年3月30日、2018年11月8日	
13	修理・改造計画	(科研)QAM-710-001、平成30年12月11日	
14	研究炉加速器技術部 設計・開発管理要領	(科研)QAM-730、2021年2月25日、2018年9月14日	

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備考
15	設計管理計画	(科研)QAM-730、2018年9月14日	
16	使用前事業者検査計画書(反応度制御盤の一部更新)	2022年4月1日	
17	使用前事業者検査要領書	2022年3月23日	
18	使用前事業者検査成績書	2022年4月6日	
19	スクラム特性試験回路盤及び反応度制御盤の更新作業仕様書、全体工程表、製作図、ロジック図、作業日報		
20	研究炉加速器技術部 部内安全審査会 運営要領	(科研)QAM-550、2022年3月31日、2021年6月23日、2018年4月1日	
21	研究炉加速器技術部 部内安全審査会 手続票	(科研)QAM-550、2018年4月1日、2019年2月6日	
22	研究炉加速器技術部部内安全審査会議事録		
23	原子炉施設等安全審査委員会規則	(科)QAM-550、2020年4月1日、2017年4月1日	
24	原子炉施設等安全審査委員会 安全審査手続票	(科)QAM-550、2017年4月1日、2019年4月1日	
25	原子炉施設等安全審査委員会議事録		
26	CRリスト	令和4年3月30日	
27	研究炉加速器技術部 監視機器及び測定機器の管理要領	(科研)QAM-760、2021年2月25日、2018年4月1日	
28	監視機器及び測定機器 管理台帳【監視機器(令和3年度)】	2022年4月1日	

No.	確認した書類の名称	文書番号、制定年月日等	備考
29	JRR-3 原子炉施設 定期事業者検査成績書 (第1回) (33-03)	令和3年2月26日	
30	反応度確認票 別記様式第-56	(科研)QAM-710-001、2021年 2月10日	
31	原子力科学研究所 情報システムセキュリティ計画	令和2年10月27日	
32	研究炉加速器技術部 使用前検査対応要領	(科研)QAM-820-004、2020年 8月17日、2018年4月1日	
33	原子力科学研究所 不適合管理及び是正処 置並びに未然防止処置要領	(科) QAM-830、2022年4月 1日	
34	原子力科学研究所 不適合管理及び是正処 置並びに予防処置要領	(科) QAM-830、2018年11月 9日	